



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 AGS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3648 URL <https://www.ags.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 俊樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画部長 (氏名) 石原 清彦 TEL 048-825-6079
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,156	△5.1	231	△38.4	245	△40.1	148	△43.5
2020年3月期第2四半期	9,645	5.3	376	28.7	408	22.1	262	23.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 259百万円 (42.8%) 2020年3月期第2四半期 181百万円 (1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	8.34	—
2020年3月期第2四半期	14.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,360	12,159	74.3
2020年3月期	16,557	11,991	72.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,159百万円 2020年3月期 11,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2021年3月期	—	5.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	18,000～20,000	△9.7～0.3	580～720	△18.9～0.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	17,845,932株	2020年3月期	17,845,932株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	40,690株	2020年3月期	49,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	17,799,405株	2020年3月期2Q	17,819,725株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、極めて厳しい状況で推移しました。段階的な経済活動の再開がみられるものの、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続くものと予想されております。

当社グループが属します情報サービス産業においては、新型コロナウイルスの感染症拡大を機にデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性が一層高まっていることから、今後はIT投資が一段と進む可能性があり、デジタル化への需要が増加していくものとみられます。

このような経営環境の下、当社グループの長期経営計画「Challenge 2021セカンドステージ」の4年目となる当第2四半期連結累計期間においては、テレワークソリューションの積極的な営業推進や自治体の特別給付金対応に関連した情報処理サービス案件の受注など、「新しい生活様式」を踏まえたIT活用のニーズや制度面の需要に対応してまいりました。

売上面では、情報処理サービスにおいて、新型コロナウイルス対応に関連した案件の受注による売上が増加した一方、ソフトウェア開発及びシステム機器販売の減収などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,156百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

利益面では、売上高の減少及び人件費等一般管理費の増加、利益率の低下などにより、営業利益は231百万円(前年同期比38.4%減)、経常利益は245百万円(同40.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は148百万円(同43.5%減)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大を要因とした売上・利益のマイナス面の影響は軽微であると考えておりますが、引き続き注視してまいります。

セグメント別の業績に関しては以下のとおりであります。

(情報処理サービス)

自治体及び一般法人向けテレワークソリューション導入案件の増加や特別給付金対応等の案件の受注などにより、売上高は5,354百万円(前年同期比1.3%増)となりましたが、一方、人件費等一般管理費の増加や利益率の低下などにより、セグメント利益は770百万円(同0.4%減)となりました。

(ソフトウェア開発)

金融機関向けの大型受注案件の延伸や常駐開発の規模縮小などにより、売上高は2,171百万円(前年同期比17.1%減)、セグメント利益は売上高の減少に伴い205百万円(同41.5%減)となりました。

(その他情報サービス)

一般法人向け社内システム導入支援サービス案件や金融機関向け機器導入支援サービスの増加などにより、売上高は994百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益は138百万円(同22.3%増)となりました。

(システム機器販売)

金融機関向けテレワーク用機器販売が増加した一方、一般法人向け機器販売が減少したことなどにより、売上高は636百万円(前年同期比15.5%減)、セグメント損失は15百万円(前年同期セグメント利益25百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、商品が前連結会計年度末比184百万円、現金及び預金が176百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が699百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比196百万円減少して16,360百万円となりました。

負債合計は、リース債務が236百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比364百万円減少して4,200百万円となりました。

純資産合計は、剰余金の配当97百万円のうち、親会社株主に帰属する四半期純利益148百万円の計上などにより、前連結会計年度末比168百万円増加して12,159百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9ポイント増加して74.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,194,254	4,371,105
受取手形及び売掛金	2,908,768	2,209,409
商品	34,144	218,236
仕掛品	52,094	189,605
原材料及び貯蔵品	13,311	11,121
その他	454,730	557,464
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	7,657,298	7,556,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,949,481	1,952,720
土地	1,572,515	1,572,515
リース資産(純額)	1,138,909	957,335
その他(純額)	828,601	923,823
有形固定資産合計	5,489,507	5,406,394
無形固定資産	1,212,078	1,128,097
投資その他の資産		
投資有価証券	1,493,587	1,651,136
その他	708,786	621,929
貸倒引当金	△4,022	△4,002
投資その他の資産合計	2,198,351	2,269,064
固定資産合計	8,899,937	8,803,556
資産合計	16,557,236	16,360,495
負債の部		
流動負債		
買掛金	612,274	669,584
リース債務	458,379	435,465
未払法人税等	156,489	94,225
製品保証引当金	27,403	26,694
その他	1,763,692	1,656,513
流動負債合計	3,018,238	2,882,483
固定負債		
リース債務	1,083,254	869,765
退職給付に係る負債	154,390	156,288
長期未払金	196,059	178,425
その他	113,748	113,748
固定負債合計	1,547,452	1,318,227
負債合計	4,565,691	4,200,710

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,431,065	1,431,065
資本剰余金	506,065	506,065
利益剰余金	9,683,344	9,733,652
自己株式	△39,899	△32,738
株主資本合計	11,580,576	11,638,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417,184	526,743
退職給付に係る調整累計額	△6,216	△5,004
その他の包括利益累計額合計	410,967	521,738
純資産合計	11,991,544	12,159,784
負債純資産合計	16,557,236	16,360,495

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	9,645,806	9,156,115
売上原価	7,453,671	7,115,267
売上総利益	2,192,135	2,040,847
販売費及び一般管理費	1,816,059	1,809,365
営業利益	376,075	231,482
営業外収益		
受取利息	148	78
受取配当金	37,786	30,721
その他	16,117	4,364
営業外収益合計	54,052	35,164
営業外費用		
支払利息	21,296	18,092
その他	7	3,511
営業外費用合計	21,303	21,604
経常利益	408,824	245,042
特別損失		
固定資産除却損	2,813	9,850
投資有価証券売却損	2,431	—
特別損失合計	5,245	9,850
税金等調整前四半期純利益	403,579	235,191
法人税、住民税及び事業税	113,859	56,366
法人税等調整額	26,884	30,409
法人税等合計	140,743	86,776
四半期純利益	262,835	148,415
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,835	148,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,237	109,559
退職給付に係る調整額	920	1,211
その他の包括利益合計	△81,316	110,770
四半期包括利益	181,518	259,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,518	259,186
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。